

氏名 (年齢) 市川 尚己 (43歳)
所属・職名 鈴鹿回生病院 脳神経外科 副部長

受賞の感想と今後の抱負

この度はてんかんにおける我々の取り組みを評価いただき、荣誉ある本賞を賜りましたこと、大変光栄に存じます。これまでにご指導いただいた先生方やご協力いただいた方々に深く感謝申し上げます。今後より一層、てんかん診療の発展にむけて尽力して参りたいと存じます。今後ともご指導のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

医学研究のテーマ

「三重県におけるてんかん地域診療連携制度の整備」

研究の概要と将来展望

てんかんは多彩な病像をもつ慢性神経疾患である。薬物療法による発作抑制率は70%程度であり、残り30%は難治性となり、人生の長い時間てんかんと対峙しなければならない、いわゆる難病である。てんかん治療の現場では、疾患治療と同時に諸問題（精神症状、就学・就労、自動車運転、妊娠・出産、スティグマなど）に対応すべく、精神・神経疾患の総合的問題解決が求められる。諸問題は個別化・多様化しており、多職種を連携した取り組みでなければ解決できない事例が多い。こうした問題を抱えたてんかんに対して、2015年から厚生労働省により「てんかん診療拠点病院整備事業」が開始された。これは各三次医療圏に1つ以上の拠点病院を設置する制度であり、てんかん医療の均てん化を目指した取り組みである。現在の日本のてんかん診療は都市圏に集中しており、地方では専門医の数も不足し十分な診療を地域に提供できていない状況である（専門医数で見ると、東京100人以上に比べ、三重3人）。

実際に三重県はてんかん診療の後進地域に該当し、これまでは非専門医による薬物療法は行えても、難治てんかん患者に対して専門医による精密検査やてんかん外科治療を行うことができないため、他県のてんかんセンターへ患者を紹介せざるを得ない状況であった。しかしながら、患者側としては遠方への通院は困難であるため、しぶしぶ治療を諦めざるを得ない事例も存在し、十分なてんかん診療の提供は行えず悩ましい状況であった。こうした三重県のてんかん診療をとりまく状況を解決すべく、てんかん地域診療連携制度の整備を目指した取り組みである。

本研究に関連する代表的な原書学術論文（5編）

1

Ichikawa N, Alves M, Pfeiffer S, Langa E, Hernández-Santana YE, Suzuki H, Prehn JH, Engel T, Henshall DC. Deletion of the BH3-only protein Noxa alters electrographic seizures but does not protect against hippocampal damage after status epilepticus in mice. *Cell Death Dis.* 2017 Jan 12;8(1):e2556. doi: 10.1038/cddis.2016.301. PMID: 28079889; PMCID: PMC5457684.

2

Ichikawa N, Fujimoto A, Okanishi T, Sato K, Enoki H. Efficacy and Safety of Epilepsy Surgery for Older Adult Patients with Refractory Epilepsy. *Ther Clin Risk Manag.* 2020 Mar 25;16:195-199. doi: 10.2147/TCRM.S250178. PMID: 32273711; PMCID: PMC7104207.

3

Itamura S, Okanishi T, Arai Y, Nishimura M, Baba S, Ichikawa N, Hirayama Y, Ishihara N, Hiraide T, Ishigaki H, Fukuda T, Otsuki Y, Enoki H, Fujimoto A. Three Cases of Hemiclonvulsion-Hemiplegia-Epilepsy Syndrome With Focal Cortical Dysplasia Type III. *Front Neurol.* 2019 Nov 20;10:1233. doi: 10.3389/fneur.2019.01233. PMID: 31824410; PMCID: PMC6879674.

4

Punyawai P, Usui N, Kondo A, Ichikawa N, Tottori T, Terada K, Takahashi Y, Inoue Y. Semiological differences of focal onset bilateral motor (convulsive) seizure between mesial temporal lobe epilepsy and neocortical epilepsy. *Epilepsy Res.* 2021 Feb;170:106553. doi: 10.1016/j.eplepsyres.2021.106553. Epub 2021 Jan 7. PMID: 33453690.¹

5

Nishimura M, Okanishi T, Itamura S, Homma Y, Sakakura K, Ichikawa N, Limotai C, Yamada S, Baba S, Masuda Y, Enoki H, Fujimoto A. Seizure focus in the frontal interhemispheric fissure leads to ipsilateral isolated eye deviation. *Epilepsy Behav.* 2021 Mar;116:107772. doi: 10.1016/j.yebeh.2021.107772. Epub 2021 Feb 6. PMID: 33556862.

略歴

2006年3月 三重大学医学部卒業
2012年4月 三重大学大学院医学系研究科脳神経外科入学
2016年3月 三重大学大学院医学系研究科脳神経外科満期退学

職歴

2006年4月 鈴鹿中央総合病院 研修医
2008年4月 三重大学病院 脳神経外科
2009年7月 市立伊勢総合病院 脳神経外科
2010年5月 山田赤十字病院（伊勢赤十字病院） 脳神経外科
2011年4月 済生会松阪総合病院 脳神経外科
2014年4月 三重大学病院 脳神経外科
2016年10月 鈴鹿回生病院 脳神経外科
2018年4月 聖隷浜松病院 脳神経外科・てんかん科
2020年4月 静岡てんかん・神経医療センター てんかん科
2021年4月 鈴鹿回生病院 脳神経外科

研究歴

2014年10月 Royal College of Surgeons in Ireland Dept of Physiology & Medical Physics. Medical Staff

専門分野

脳神経外科学 てんかん学

医学博士、専門医資格など

2017年3月 三重大学大学院 博士号取得

日本脳神経外科学会専門医・指導医
日本てんかん学会専門医
日本脳卒中学会認定脳卒中専門医・指導医
脳血栓回収療法実施医
迷走神経刺激療法（VNS）資格認定医
日本定位機能神経外科学会機能的定位脳手術技術認定医
日本臨床神経生理学会脳波専門医
術中脳脊髄モニタリング認定医

